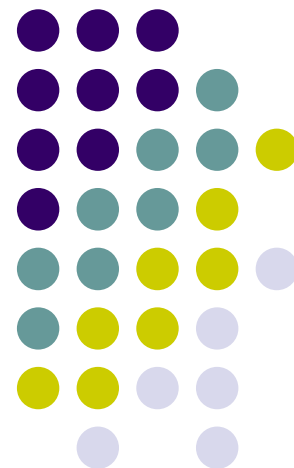
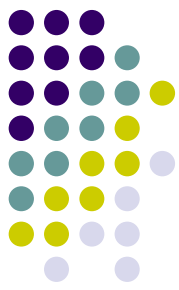


地域力再生プロジェクトについて

京都府総務部自治振興課





地域力、コミュニティをめぐる現状

- 豊かさの陰で、家庭や地域において人と人とのつながりが希薄化、人々が孤立した社会に。
- 急激な少子高齢化により地域のコミュニティが弱体化
- 自殺者の増加や児童虐待、引きこもり、凶悪犯罪の増加、地域の雇用不安、地域文化の衰退など、地域発の様々な課題が発生
- 東京一極集中により、京都の文化創造力や発信力にかげり。

地域力、コミュニティをめぐる課題



- 人と人がつながった温かい地域社会、ICTなどを活用した新しいコミュニティの構築
- 地域が独自に持つ資源を活かし、様々な人材との協働・共創により、京都の新しい価値の創造やより質の高い公共サービスを提供する京都府の実現
- おまかせ民主主義から脱却し、新しい公共のあり方を創造



地域力とは？

住民やNPO、企業、自治体等の
地域の構成員が、
自律的かつ互いに助け合い、
知恵と工夫を出し合い、
協働しながら地域社会の問題を解決し、
地域としての魅力や価値を向上し、
持続可能な地域社会をつくっていく力

地域力再生プロジェクトの ミッションと3つの戦略



ミッション

人と人がつながった温かい地域社会をつくること

戦略

つながり

人と人がつながる場をつくる

仕掛け

地域資源を発掘し、活用する

枠組み

住民、NPO、企業、行政が力を合わせ公共を担う

平成19年度 地域力再生プロジェクトの事業概要



市町村未来づくり交付金・地域力再生枠 3億円

地域力再生を行う住民団体に、ソフト200万円以内、ハード500万円以内、1/3の交付金を支給(京都市以外の地域では(財)京都府市町村振興協会から1/3が別途支給)

地域力再生事業コンクール 200万円

地域力再生を図るアイデアを一般公募し、コンテストを行うものです。優れた提案は、京都府と民間の方が協働して実施

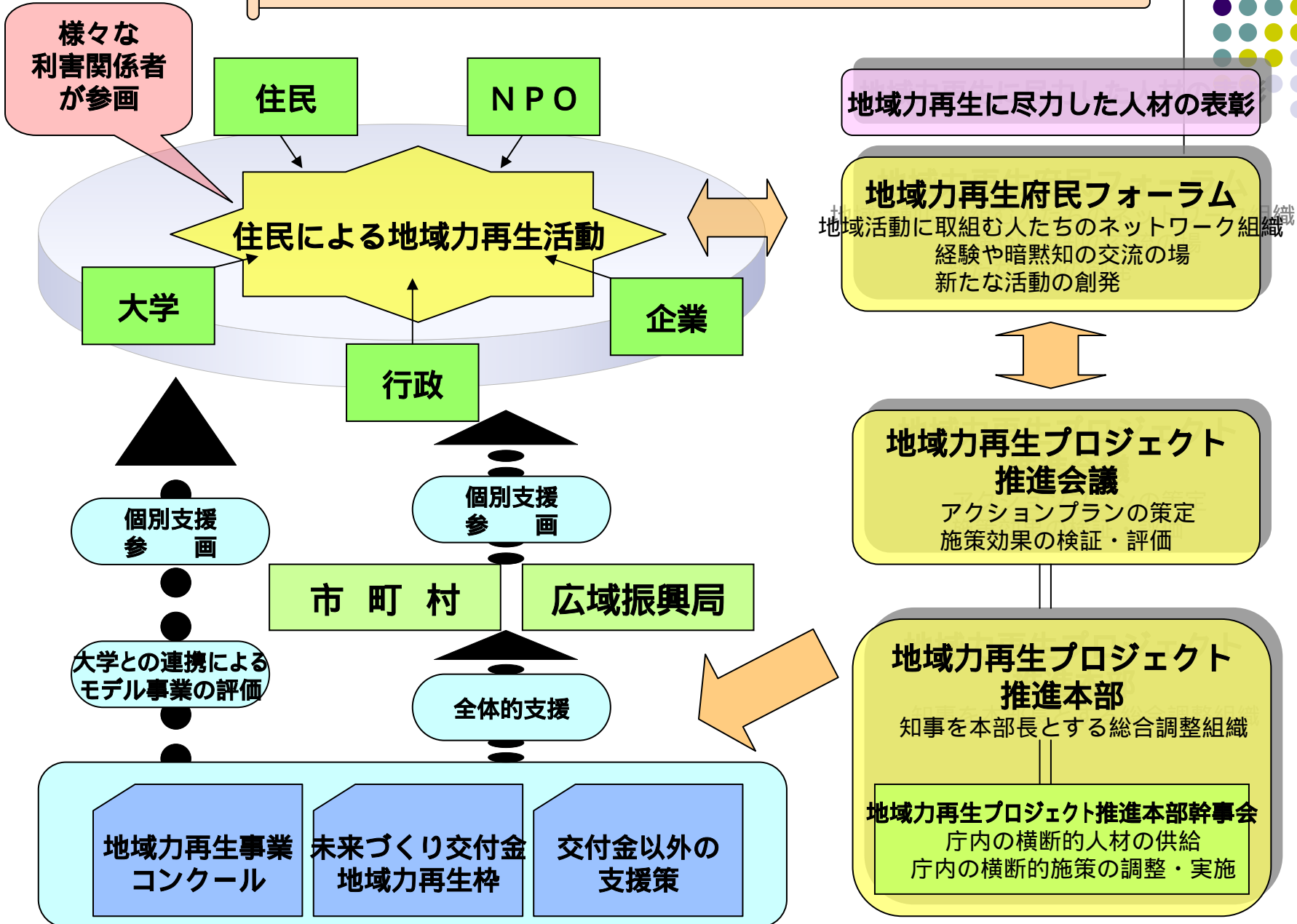
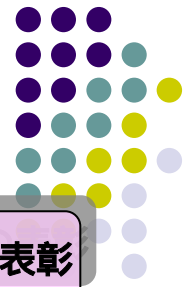
地域力再生府民フォーラムの創設 100万円

北部、中部、京都市内、南部で実施し、地域力再生に取り組む外部の活動事例の紹介や、地域力再生についての意見交換を行い、府内の活動家ネットワークをつくっていきます。

地域力再生に関する庁内の調整組織の設立と運営

地域力再生プロジェクト推進会議の運営とアクションプランの策定

平成19年度 地域力再生プロジェクトの全体構成



地域力再生プロジェクト支援事業展開イメージ

人と人がつながった温かい地域社会をつくること

3つの戦略

つながり

人と人がつながる場をつくる

仕掛け

地域資源を発掘し活用する

枠組み

行政・企業・NPO・住民が力を合わせ公共を担う



- ・地域性
- ・公共性
- ・自立・持続性
- ・ソフト事業との関連性
- ・新規・再興性
- ・地域戦略との整合性
- ・その他

住民による地域力再生活動



事業の協働展開 = 地域力再生のこらぼカフェ

- ・ロゴマーク
- ・キャッチフレーズ

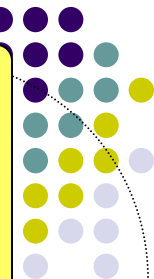
各種支援

- ・事業の共同PRやフォーラムでの成功体験共有
- ・ヘルプデスクの設置による相談体制の確立
- ・アドバイザーや市町村・府職員等の派遣、アイデアやネットワークの提案
- ・大学や企業との連携やアクションシート作成のコーディネート

地域振興計画

アクションプラン

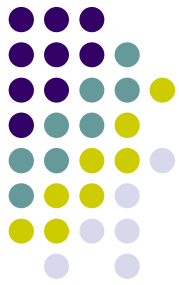
運営目標



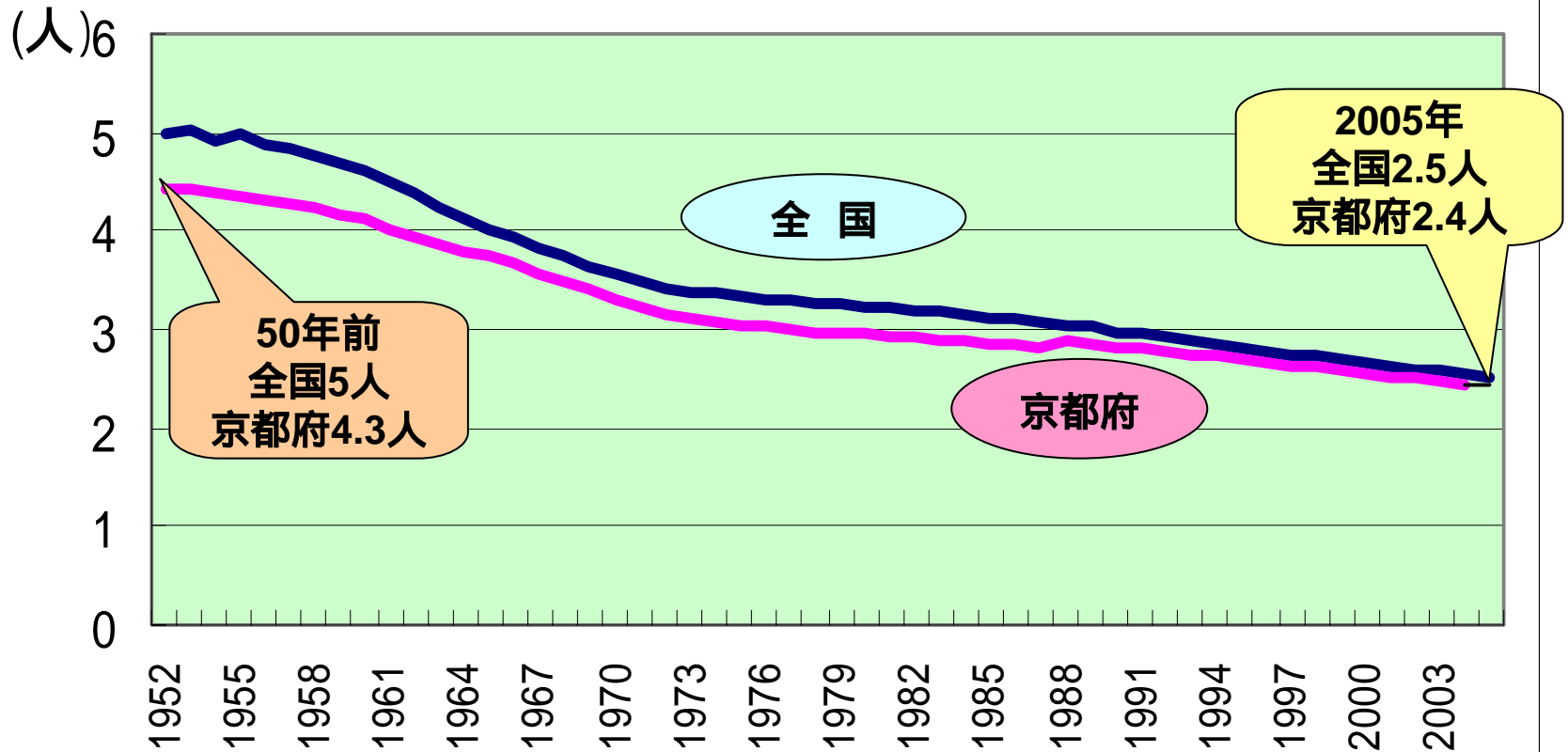


参考データ

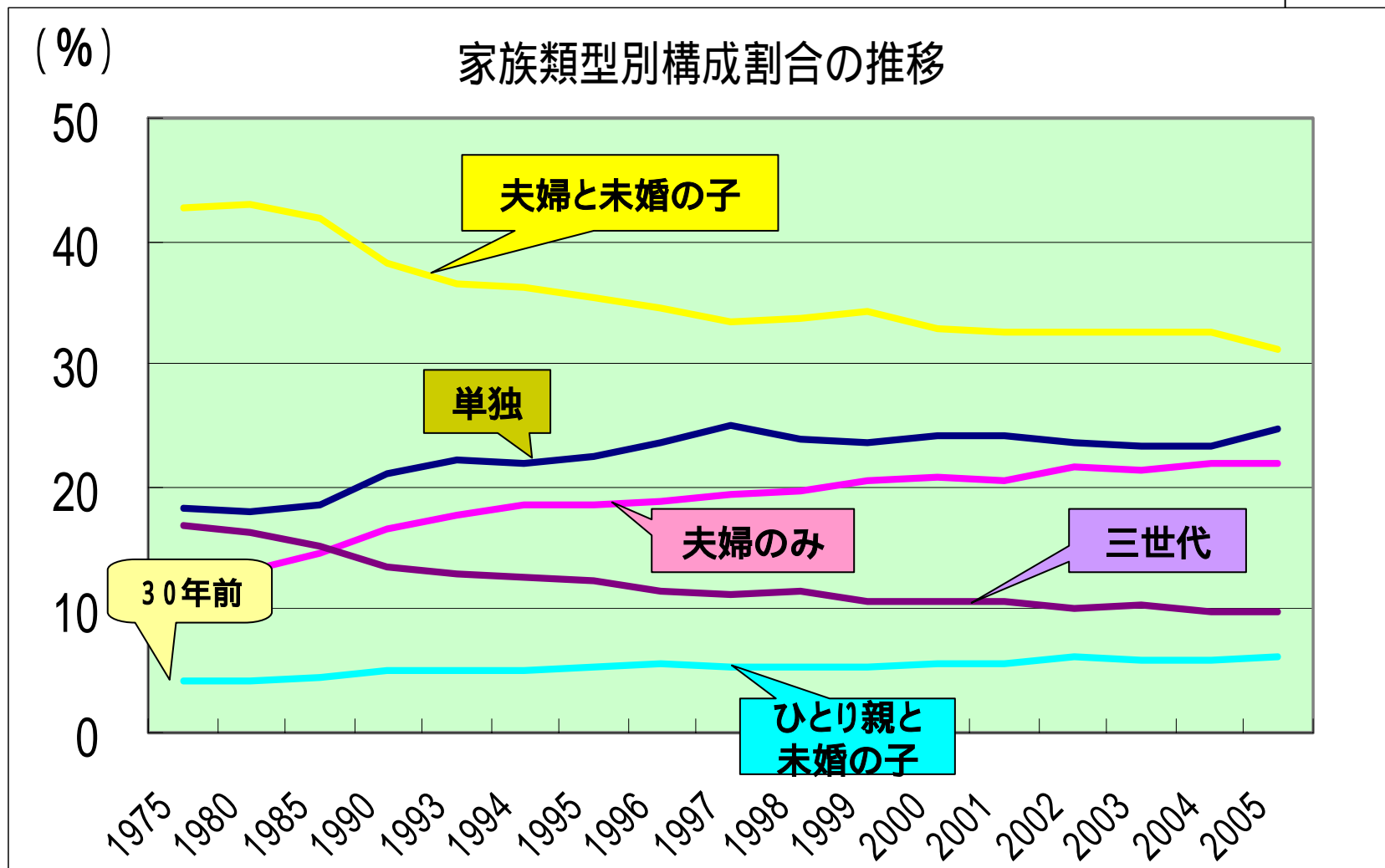
家族のつながりの希薄化 平均世帯人数の減少



1世帯あたりの人数の推移

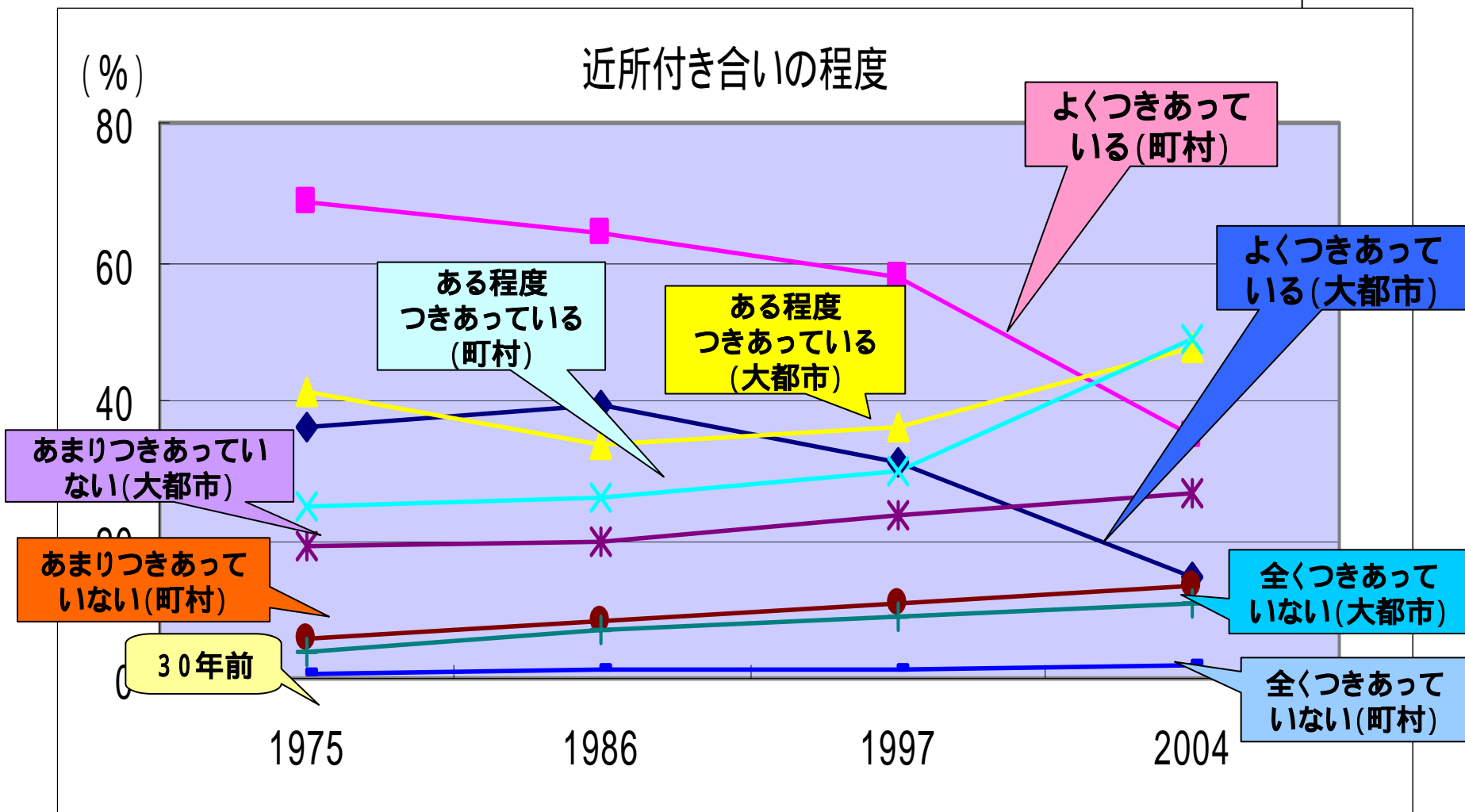


家族のつながりの希薄化 単独世帯の増加



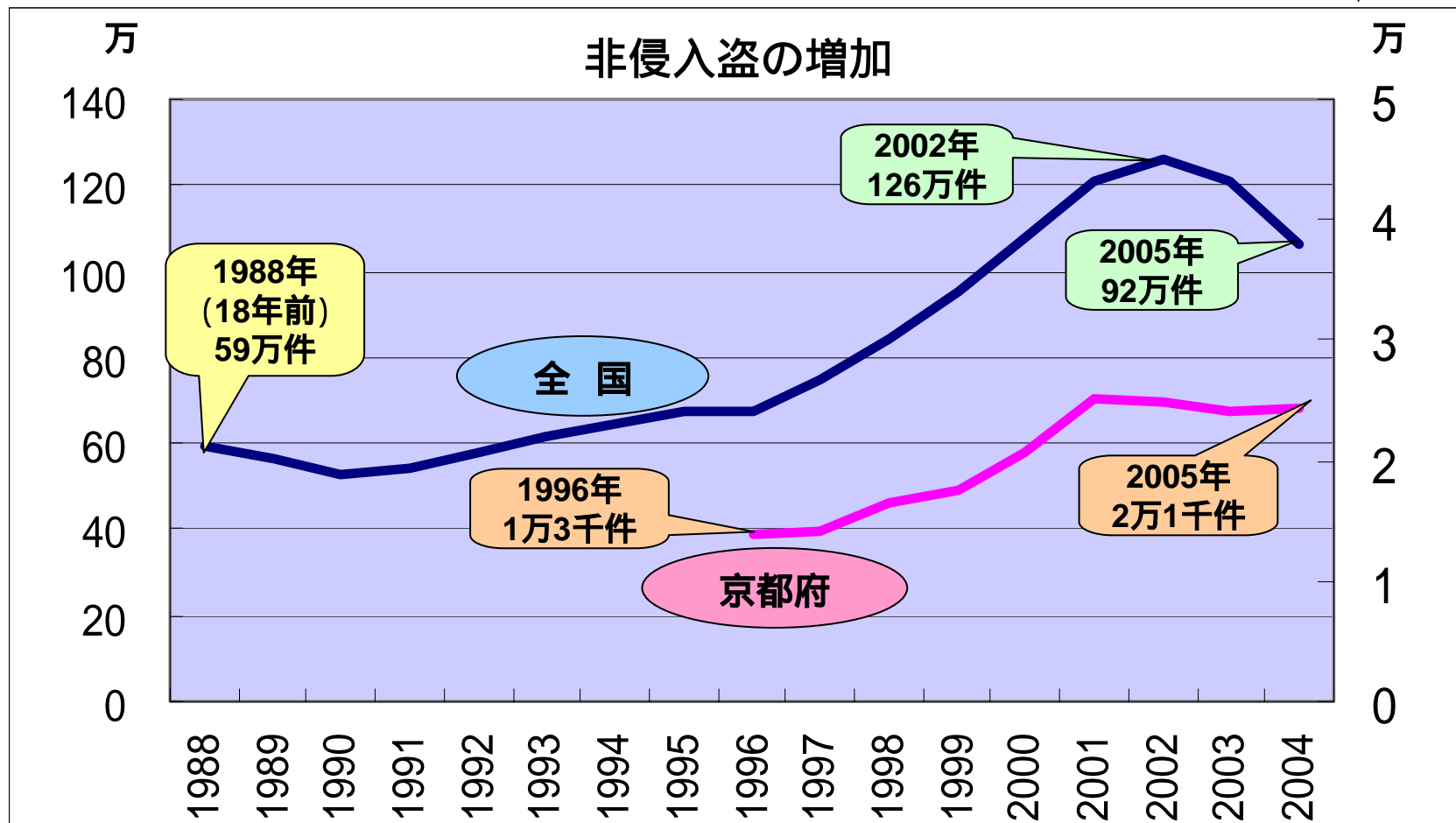
地域のつながりの喪失

近所付き合い合いの希薄化



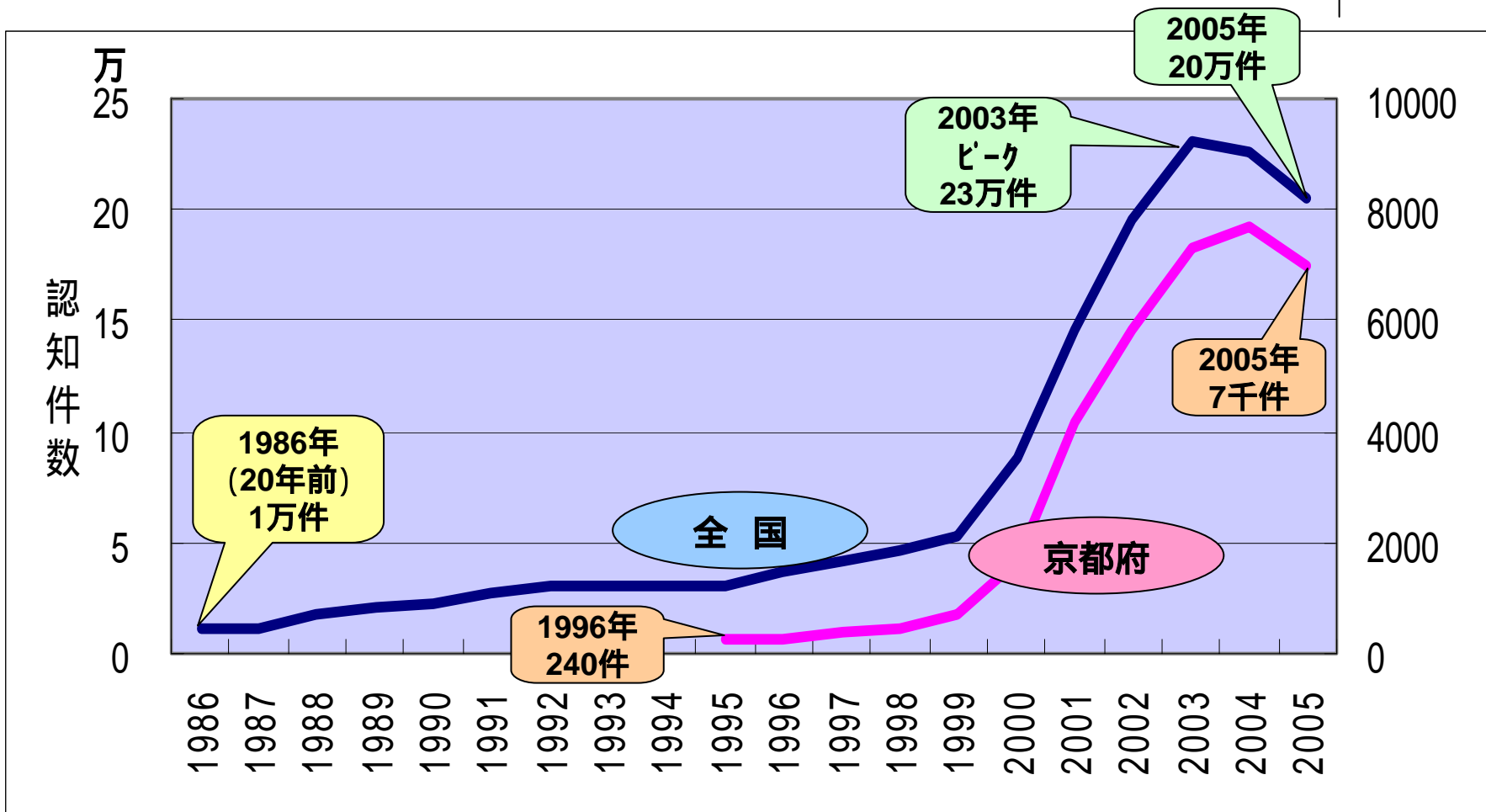
安心・安全の崩壊

人の目の希薄化～非侵入窃盗の急増

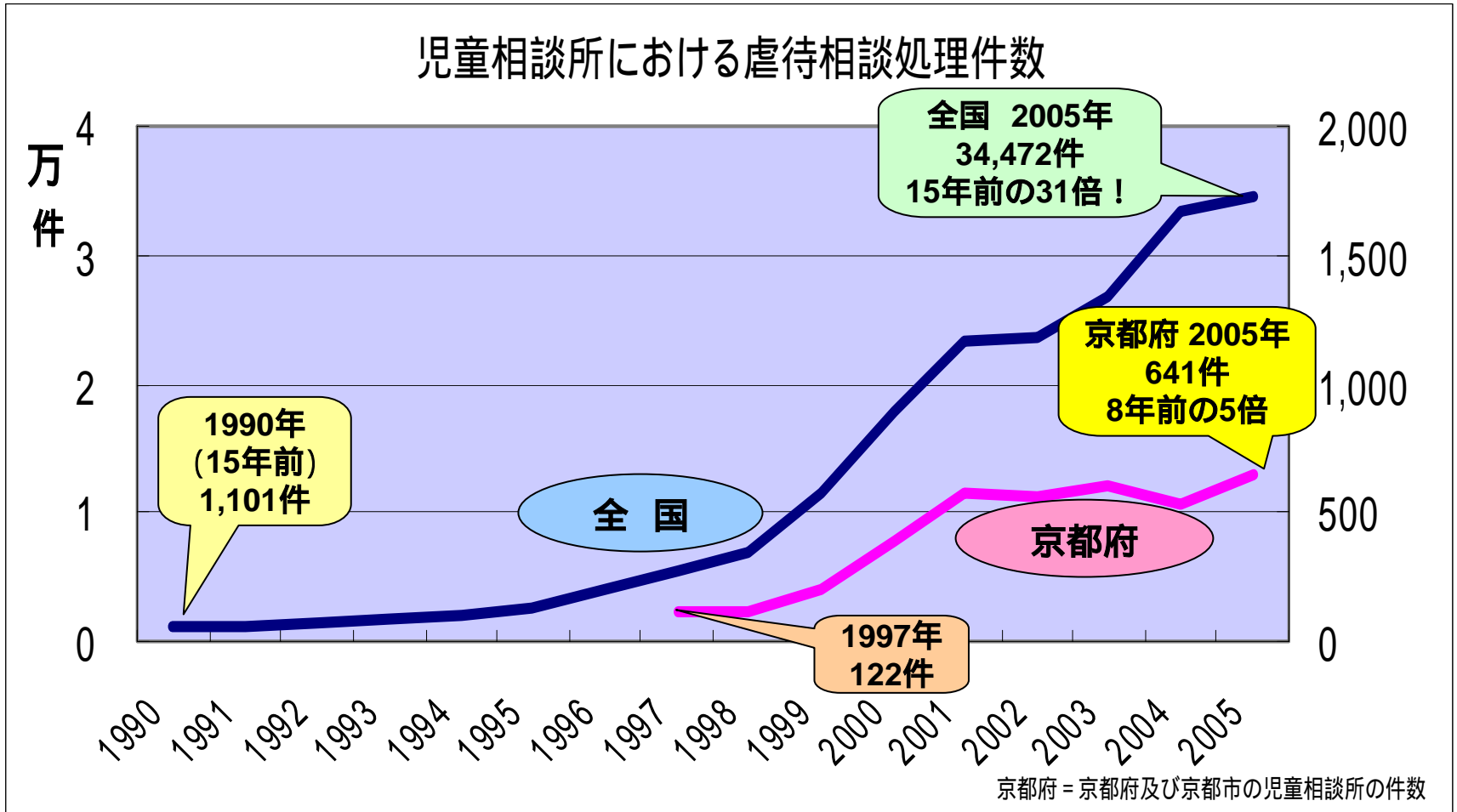
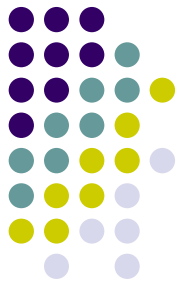


安心・安全の崩壊

心の荒廃 ~ 器物損壊等の激増

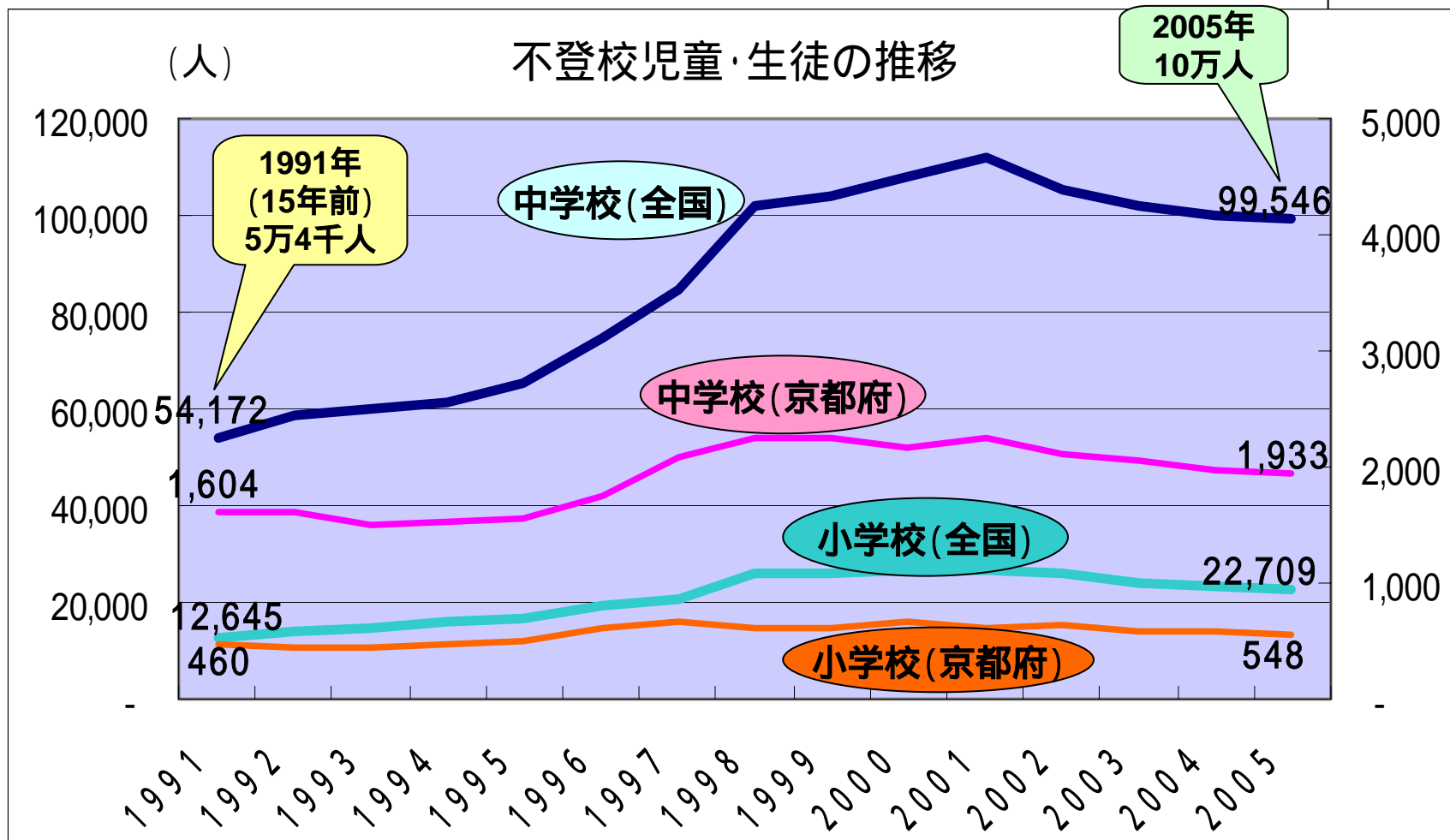


孤立化する社会 児童虐待の増加



孤立化する社会

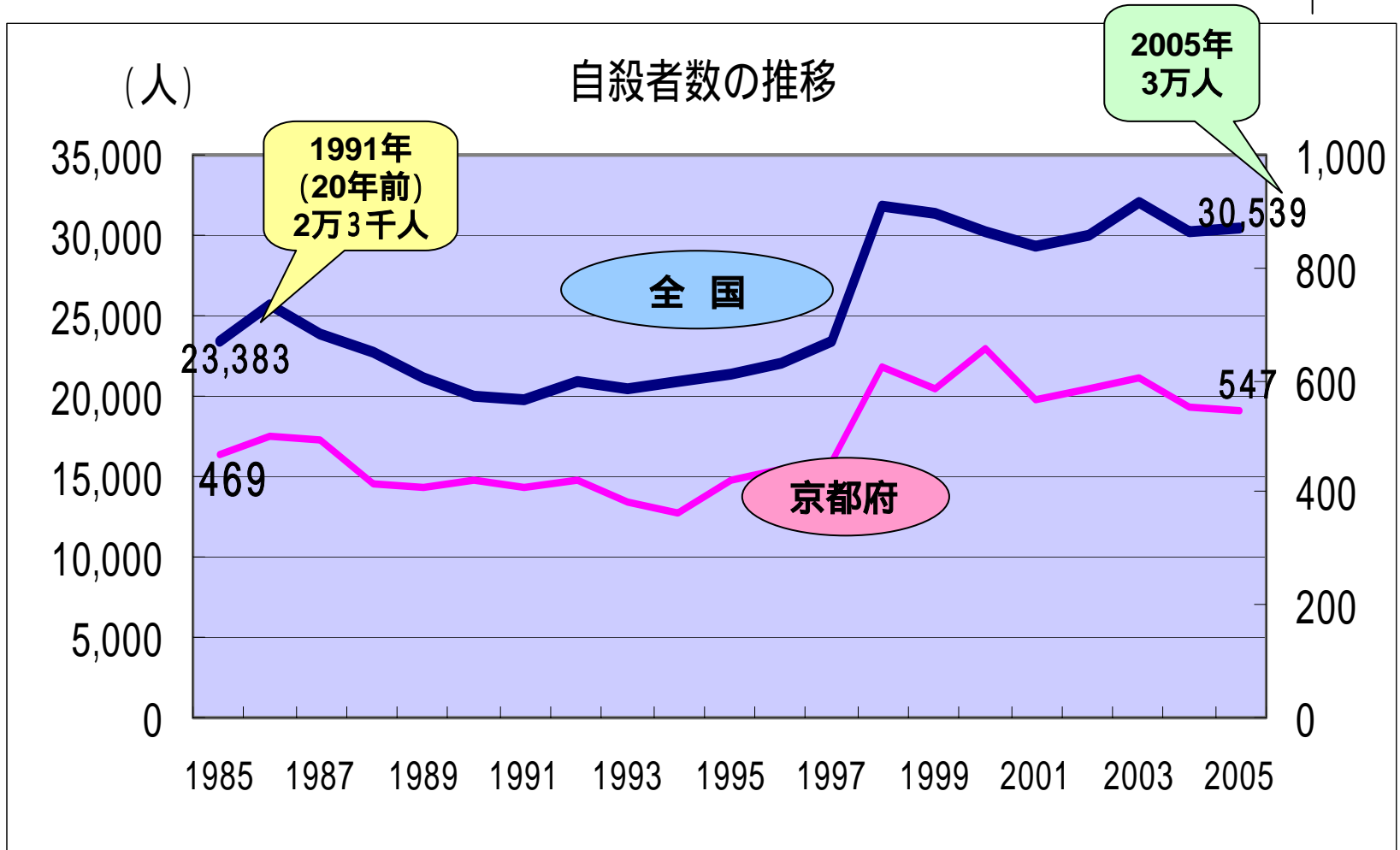
不登校の増加

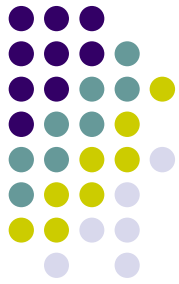




孤立化する社会

自殺者の増加





孤立化する社会 少子化の進行

